

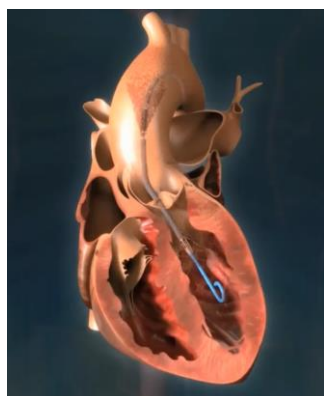
都立広尾病院 循環器科

IMPELLA の導入について

IMPELLA とは

インペラ（IMPELLA）は、世界最小のカテーテル型補助人工心臓です。左心室の中に入れることで、循環補助（動かなくなった心臓のかわりに全身に血液を送る）が可能となる新しいデバイス（機械）です。2004 年からヨーロッパで、2008 年からアメリカで承認を得て販売が開始され、既にヨーロッパ・アメリカでは広く普及しており、日本でも 2017 年 9 月から導入が開始されました。当院では 2017 年 12 月に全国で 23 施設目、東京都では 7 施設目（渋谷区では初）の実施施設認定を取得しました。2019 年 8 月より稼働しております。

治療できる症例など



画像提供：日本アビオメッド株式会社

- 重症の急性心筋梗塞
- 難治性の重症心不全
- 劇症型心筋炎 など

当院循環器科の特色

循環器科は、カテーテルを用いた血管内治療を得意分野としています。

虚血性心疾患における冠動脈インターベンション(PCI)だけでなく、下肢動脈、腎動脈、鎖骨下動脈に対するステント留置や深部静脈血栓症(DVT)に対する治療経験も豊富です。

経橈骨動脈の他、最近では遠位橈骨動脈アプローチ(DRA)も活用し、低侵襲な治療を心がけています。

また、不整脈に対するカテーテルアブレーションを積極的に行っており、特に心房細動のアブレーション治療の数は、都内でもトップクラスの症例数です。

ほかに MRI に対応したペースメーカーの留置、致死性不整脈に対する ICD 植え込み、重症心不全に対する両室ペースメーカー(CRT)の植え込み症例も豊富です。

他科との連携も良好であり、心臓病以外の疾患を合併した患者さんもスムーズに治療できます。